

# オンライン座談会

# 事業所が守る従業員の健康

超高齢社会の日本では従業員の疾病リスクが高まり、体調不良による労働生産性の低下が懸念されています。主に中小企業の従業員が加入する全国健康保険協会（協会けんぽ）は、事業主と連携して従業員の健康を守る「コロナヘルス」を進めています。従業員の健康を確保するためには、従業員が健診を受けるだけでなく、その結果に応じて、特定保健指導<sup>※1</sup>や特定保健指導<sup>※2</sup>を利用することが容易となるような職場環境を整えることが必要です。今回は、「健康宣言事業所<sup>※3</sup>」において、「健康保険委員会<sup>※4</sup>」として、特定保健指導の活用を中心に、事業所における健康づくりにおいて優れた取り組みを実施し、厚生労働大臣表彰を受賞された妹尾旭工業株式会社（岡山県）の佐近雅子氏、中越合金精工株式会社（富山県）の河口裕之氏、庄内交通株式会社（山形県）の村紀明氏の3人に、全国健康保険協会理事長・安藤伸樹氏が各々の取り組みについてうかがいました。



全国健康保険協会理事長  
安藤 伸樹氏

## 協会けんぽが事業所の健康づくりを支援

安藤 協会けんぽの保険料率は、加入者や事業主が健康づくりに取り組む医療費を抑えることで、引き下げることができま。実際、令和5年度は47支部中33支部の保険料率が引き下げとなりました。協会けんぽでは、事業所と連携し従業員の健康づくりに取り組む「健康宣言事業」を実施しており、事業所の健康課題を認識できる「事業所カルテ」の提供などのサポートを行っています。

事業所における健康づくりは、まず、従業員の皆様が健診を毎年受けることができるよう、環境を整えていただくことから始まります。このため、協会けんぽでは、令和5年4月から生活習慣病予防健診<sup>※5</sup>の自己負担額を約2,000円引き下げし、より受診していただきやすくします。ただ、健診は、病気の早期発見などのきっかけに過ぎません。健診結果を確認し、生活習慣の改善が必要な方は、運動、食事などの生活習慣の見直しに取り組んでいただくことが大切です。

生活習慣の改善が必要な方には、保健師または管理栄養士が寄り添い生活習慣を見直す「特定保健指導」を行っています。しかし、特定保健指導の利用率は国が掲げる35%の目標に対し、約18%（令

和3年度）にとどまっている状況です。特定保健指導が必要な方、一人ひとりに対するご案内は、生活習慣病予防健診のご案内と同様に、事業所を通じてお渡ししていることから、事業所の協力が不可欠です。

## 社長自ら従業員一人ひとりに声かけ

妹尾旭工業様は生活習慣病予防健診や特定保健指導に関して、従業員に積極的な声かけを行っておられるそうですね。

佐近 弊社は自動車の部品などを製造しており、36名の従業員がいますが、生活習慣病予防健診はパート・アルバイトも含め全員が同日に受けられるように調整し、必ず受けるように声かけしています。

生活習慣病予防健診で病気が見つかった方もおられると聞きました。佐近 生活習慣病予防健診で、胃がんや肺がんが見つかった人がいます。二人とも早期発見だったこともあり、今では手術をしたと思えないくらい元気に働いています。医師にも「みんな、これくらい早い段階で治療に来てくれるといいです



妹尾旭工業株式会社総務課長  
佐近 雅子氏

ね」と言われたそうです。この経験から、毎年生活習慣病予防健診を受け、その結果に応じた行動をとることの重要性を多くの従業員が実感しました。

## 勤務時間内の利用促進 指導受けやすい環境に

中越合金精工様は従業員が多く、特定保健指導の対象者が多くなるにもかかわらず、全員に利用していただいております。勤務時間内に特定保健指導を利用できる環境を整えることは大変と思われませんが、どのような工夫をされていますか。

河口 非鉄金属鑄物の製造を行う弊社は約600名の社員がおり、一部の社員には夜間も含めた交替勤務もあります。

安藤 建設業・飲食業などと並んで、運輸業界はメタボリックシンドロームの該当率が高い一方で、特定保健指導の利用が進んでおらず、大きな課題となっています。しかし、庄内交通様は、特定保健指導の利用率を高い状態で維持されてい



中越合金精工株式会社総務課長  
河口 裕之氏

特定保健指導は、担当部署が対象者のプライベートに配慮しつつ通知し、管理職や協会けんぽと連携して対象者のシフトに応じて、勤務時間内に利用できるよう調整しています。

## 業界の実情を踏まえた健康づくりへの取り組み

安藤 建設業・飲食業などと並んで、運輸業界はメタボリックシンドロームの該当率が高い一方で、特定保健指導の利用が進んでおらず、大きな課題となっています。しかし、庄内交通様は、特定保健指導の利用率を高い状態で維持されてい

安藤 建設業・飲食業などと並んで、運輸業界はメタボリックシンドロームの該当率が高い一方で、特定保健指導の利用が進んでおらず、大きな課題となっています。しかし、庄内交通様は、特定保健指導の利用率を高い状態で維持されてい

安藤 建設業・飲食業などと並んで、運輸業界はメタボリックシンドロームの該当率が高い一方で、特定保健指導の利用が進んでおらず、大きな課題となっています。しかし、庄内交通様は、特定保健指導の利用率を高い状態で維持されてい



庄内交通株式会社代表取締役  
村 紀明氏

## 事業所へのお願い

- 生活習慣病予防健診・特定保健指導のご案内を確実に従業員の方にお渡しください。
- 健康宣言事業に積極的にご参加ください。

ますね。

村 弊社は乗合バス、高速バス、貸切バスを運行しています。バス業界では、過去に運転者の健康に起因する重大事故が起こったこともあり、運転者の健康状態の把握に努めています。具体的には、乗務前に服薬状況も含めた健康状態の確認、睡眠時無呼吸症候群や脳血管疾患に関するスクリーニング検査を行っています。

安藤 お客様の命を守るためにも、生活習慣病予防健診で従業員の脳血管疾患等のリスクを確認することは重要ですね。村 リスクが高い従業員には特定保健指導の利用を積極的に促しています。弊社では、従業員が勤務時間中に特定保健指導を利用できるよう、調整を行っています。特定保健指導の利用を躊躇する従業員もいますが、産業界からも声掛けをしてもらうことで後押しをしています。最近では、協会けんぽのホームページなどで自ら情報収集をする従業員も増えており、職場の健康意識が向上しています。

## 従業員の健康は事業所の創意工夫次第

安藤 お話を伺うと①生活習慣病予防健診・特定保健指導の対象者に直接声をかけ、②勤務時間を調整し、生活習慣病予防健診・特定保健指導を受けられるようにする、③健康宣言事業に率先して参画し、従業員自らが健康管理の重要性を認識できるようにする、などの取り組みをされていることがわかりました。その結果、生活習慣病予防健診の受診率、特定保健指導の利用率が向上し、生活習慣の改善に取り組む方が増え、特定保健指導対象者が減少しています。協会けんぽでは、3社の取り組みをはじめ、他の事業所での取り組み事例を収集し、それらを参考にしながら、事業所における従業員の健康を守る環境づくりに資する取り組みを広く進めていきたいと思います。

# けんぽのいっぽ!

協会けんぽの保険料率は都道府県支部ごとに定められ、皆さまの取組が反映されます。

都道府県支部ごとの保険料率は、それぞれの支部の加入者1人あたりの医療費に基づいて算出されます。保険料率の伸びを抑えるためには、加入者・事業主の皆さまに、健康づくりに取り組んでいただくことが重要です。

## 健康づくりの第1歩は、毎年の健診!

健診は、病気の早期発見や自身の生活習慣を見直し、改善に取り組むきっかけになります!協会けんぽでは、生活習慣病の発症や重症化の予防を目的とした血液検査や尿検査、がん検診等、被保険者(ご本人)に受けていただく生活習慣病予防健診を実施しています。

協会けんぽの生活習慣病予防健診は、メタボリックシンドロームとともに5大がん(肺がん・大腸がん・子宮がん・乳房がん)までカバー!

※対象年齢の方は、一般健診に付加健診、乳がん検診、子宮頸がん検診を追加することができます。  
※メタボリックシンドロームとは、お腹まわりに内臓脂肪がたまることで悪玉のホルモンが分泌され、高血圧・高血糖・脂質異常等が起こり、生活習慣病になりやすくなっている状態のことです。

令和5年4月スタート!

## 生活習慣病予防健診等の自己負担の軽減

一般健診 対象:35歳~74歳の被保険者(ご本人)

軽減前	最高 7,169円
軽減後	最高 5,282円

付加健診、子宮頸がん検診、乳がん検診、肝炎ウイルス検査の自己負担も軽減します。

## 次の1歩は、健診の結果を踏まえた行動をとること!

